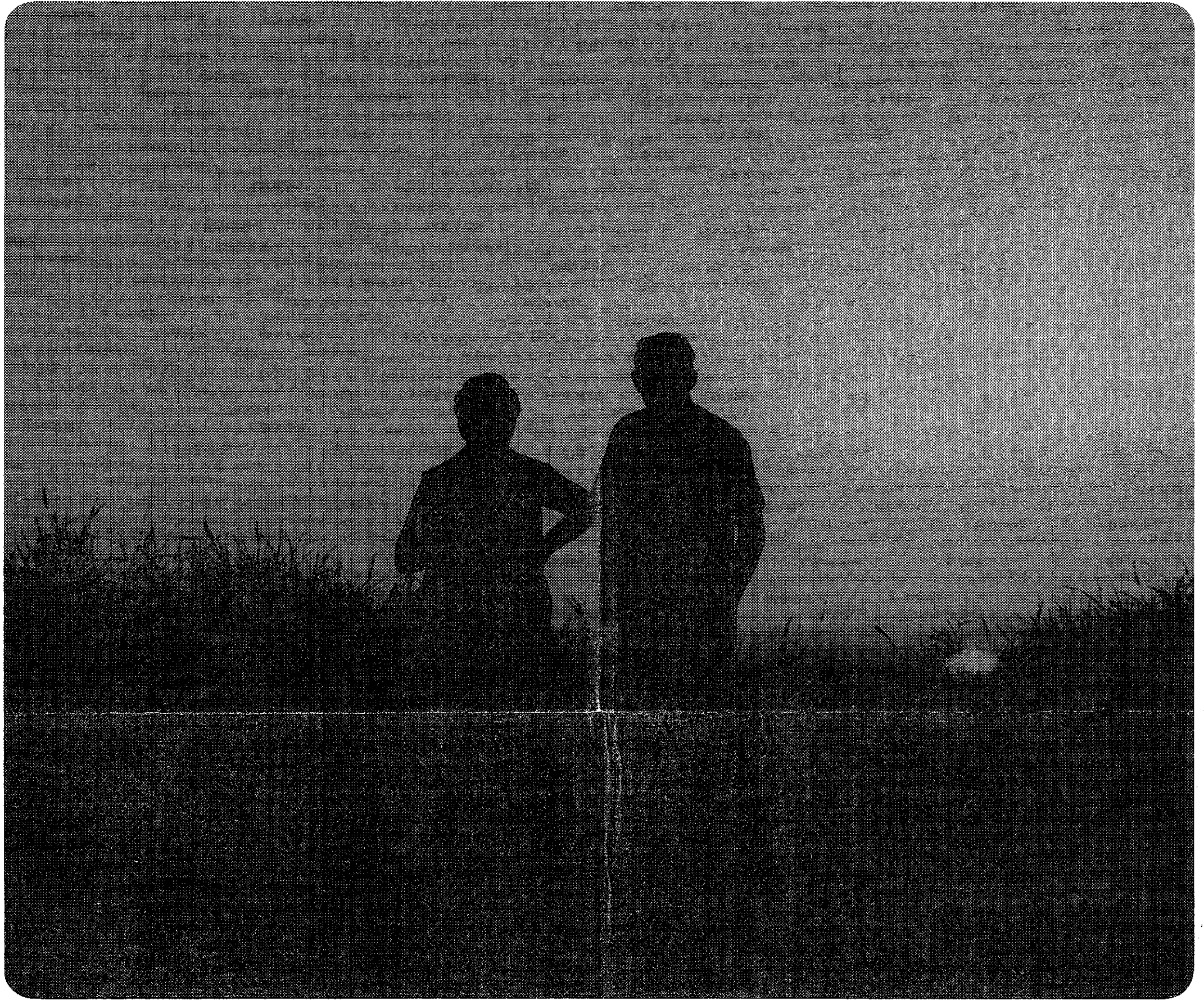
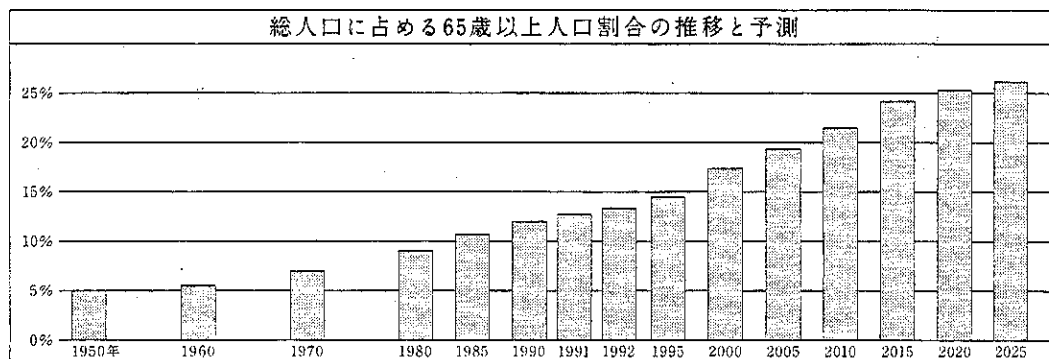


# あなたの日本は、楽しいですか？



## 日本の生活データ：【65歳以上人口篇】

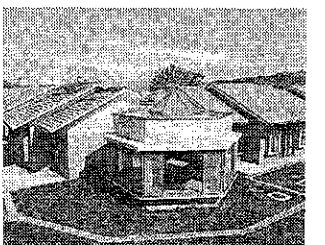


クオリティ・オブ・ライフ(QOL)という言葉をご存知でしょうか。この言葉は、第二次大戦後に経済の急激な成長を目指した国々が、資源やエネルギーの大量消費と環境破壊の中で奪われた、ゆとりや快適さを取り戻し、人間らしさを回復するためにつくられた言葉です。さらに、最近では、生命の長さとともにその質を考えるための言葉としても使われています。遅ればせながら、日本においても10年ほど前から、本格的な高齢化社会に備えて、医療界を中心にしてこのテーマに取り組み始めました。左のデータを見ていただいても分かるように、21世紀には総人口に占める65歳以上の割合が15%を越えて、ピークを迎える2020年には25%にも達します。つまり4人に1人が65歳以上の高齢者という訳です。より多くの人が長生きできるようになることは、理想であり人間の願いですが、それだけでは決して幸せとは言えません。むしろ、どれだけよい人生が送れるか、その質を問うことが、これからの時代には必要ではないでしょうか。そのためには、十分な施設を整えることはもちろんのこと、人間1人1人が優しさや思いやりを取り戻すことが大切です。さて、あなたは今、人生のどのあたりですか。その人生は、楽しいですか。※この広告に関するご意見をお寄せ下さい。〒100-51 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社 あなたの日本は、楽しいですか？係

人は誰でも歳をとる。これだけは、ほんと、平等に。そこで、日本船舶振興会は考えた。

高齢者はもちろん、その地域まで、  
生き生きとしてくる施設をつくりたい。  
日本船舶振興会では、さまざまな財団  
活動支援の一環として、高齢者福祉  
モデル施設づくりに協力しています。

平成7年5月17日は、長野県北佐久郡北御牧村にとって記念すべき日となりました。いよいよ高齢者総合福祉施設「ケアポートみまき」の運営が始まります。ケアポート建設にあたり、保険・医療・福祉・建設などの専門家に地域の方々を加えて建設運営委員会を構成し、地域のニーズにあい、21世紀の高齢社会を見据えた施設が検討されました。その結果、全室個室の特別養護老人ホームを中心に、外来と施設内患者の両方に対応できる診療所、保険・医療・福祉等の総合相談窓口、さらに健康増進のための施設もあわせもつ「ケアポートみまき」が完成したのです。近年、北御牧村においては急速な高齢化が進み、積極的な取り組みが求められていました。これを、未来を見つめた先駆的福祉施設の整備を積極的に支援してきている日本船舶振興会が、後おしるかたちでケアポート建設が進んでいったのです。さらにドイツのバーデンバーデンをモデルとして「高齢者が生きがいをもてる街づくり」も推進中。今後は既存の温泉、スポーツ、デイサービスの各施設と有機的に連携しながら、高齢者の自立を助け、地域住民も生き生きと暮らせるコミュニティに発展させることを目指しています。日本船舶振興会は、これまでの蓄積を生かし、高齢者問題に限らず福祉活動全般にわたって支援していきます。



財団法人 日本船舶振興会